



広報
ロザリオ

第178号

社会福祉法人
ロザリオの聖母会
千葉県旭市野中4017
Tel (0479) 60-0600
ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
Eメールアドレス
honbu@rosario.jp



高齢者支援センター・ロザリオ訪問介護事業所



目

巻頭写真「高齢者支援センター・ロザリオ訪問介護事業所」	1
年頭所感	2
海上寮療養所医師就任挨拶	4
創立記念行事	5
令和7年度障害者週間行事	6
はーとふるAsahiマルシェに参加して	8
各種表彰	8
第30回ロザリオ福祉まつりお礼	8
イオンタウン旭店様よりサンタさんのサプライズプレゼント	9
聖心女子学院様よりクリスマスプレゼント	9
米本評議員の知人大嶋源子様より	9

次

大食堂エアコンのご寄附	9
寄附者御芳名	9
第27回長嶋茂雄野球大会	10
第2回ボッチャ大会優勝	10
もちつき会	10
職員バレーボール大会	11
新任者紹介	11
Photo Gallery (年末行事大特集)	12
Instagram 開設しました!	14
ボランティア募集のお知らせ	14
職員募集のお知らせ	14

年頭所感

理事長 石毛 敦

新年明けましておめでとうござります。年頭のご挨拶を申し上げます。

職員の皆さんのお頃のご努力に、そして長い期間に亘り私どもの事業を支えて下さってきた多くの支援者の方々に深く感謝申し上げます。

コロナ感染は、今年も真冬や真夏などの時期に集団感染も施設・事業所によつては、見受けられましたが、感染対応の経験値の蓄積とスキルの向上により、幸いなことに重症化することは無くなりました。社会的な、また法人施設内での感染状況に機動的に対応して、感染対応を柔軟に変化させることに努めてコロナ以前の日常生活を取り戻しております。

新型コロナ感染症の世界的流行以来、地域的な戦争・紛争、経済の悪化など、猛烈な速度で様々なる分野で大きな変化が同時多面で進行しています。もしかしたら、私達は歴史の大きな転換点に位置し

て、その目撃者、経験者であるのかも知れません。危機の時代、動乱の時代は、変化の時代、チャンスの時代でもあります。平和な時代には埋もれていた人材がこの大変化の時代には急成長したり、その逆もあるかも知れません。

我が国に目を向けると、少子高齢化と人口減少の同時進行、抑制できない物価や金利などインフレーションの進行、格差の拡大や貧困の増大、第四次産業革命とも言われる A I や I C T などデジタル化に伴う産業や社会構造の急速かつ不可逆的な変化などは、戦後 80 年に亘る人口増加や経済成長を前提とした経済、政治、社会的システムを根本から転換する必要を強く促しています。

急激かつ大規模な変化の時代には、様々な理由で苦しんでいる人、困窮している人々を世間の荒波から守り、受け入れる防波堤や丈夫で安全な網が不可欠となりますが、今まで以上にこれからは私たち福祉の役割や責任が重要になつてきます。今まで以上にこれからは私は私です。今まで以上にこれからは私は私です。

てみると考えます。

昨今は技術の進化で、A I や D X など、人工知能や人型ロボットが既存の人間の労働にとつて代わる時代に突入しております。

世界最先端の A I 大国アメリカでは、A I が人の仕事を奪いつつあるようです。A I 効率化の名の下、アマゾン、マイクロソフトや G M など最先端の世界的巨大企業は採用を急速に絞り込み、100 万人近い大リストラを断行しているそうです。アメリカでは、名だたる有名大学を卒業しても、大企業に就職することが困難になり、給与が高く学士号が必要とする職種は他の職種以上に A I に仕事を奪われているようで、ホワイトカラーラーの職業が必要なくななる時代が始まっているようです。

その反面、電気、建設、医療・福祉など手に職を持つ技術職は今後は A I やロボットで完全に入れ替えができませんので、求人が殺到して給料が急上昇していると聞きます。ホワイトカラーラーと技術職の逆転現象です。良くも悪くも、我が国日本ではアメリカと異なり、国の成り立ち的に和を尊重するため、時代や技術の変化を緩やかに受け入れるお国柄ですか

ら、これほど過激には進まないと思いますが、この流れ自体は決して変えられないと思います。

このよだな技術職の一つであ

る、介護職員やケースワーカー、保育士、看護師、医師、理学療法士など、福祉施設で働く我々のよ

うな職種も、効率化省力化はできても、A I などによる完全な代替は現状では難しいと思います。職員の皆さん、どうかご自分の専門性と技術に、福祉業界の将来性に、そして福祉を職業として選択したご自分自身に大きな自信と誇りを持って頂きたいと思います。これからは、一般企業のホワイトカラーラーから私達のようなエッセンシャルワーカーへの転職すなわち雇用の流動化も増えていくことだと思います。

世界最大手のコンサルファーム McKinsey(マッキンゼー)は、A I が 2030 年までに全世界で最大 8 億人(日本では 3000 万人)の職を奪うと予測しているようです。コンサルの予想なので、何らかの言葉通りに受け取るわけにも行きませんが、技術の進歩で無くなる職業が発生すると同時に新たに誕生する職業も出て来るでしょうし、実際に出てきています。馬車が

無くなり、馬を操る馭者と言う仕事が無くなりましたが、自動車の普及により、プロのドライバーと言ふ新しい仕事が生まれたように。A I、ロボット関連の新しい職業がたくさん生まれるでしょうから、既存の職業から雇用の転換も急速に進行すると思います。

次に経済についてです。日本の政府債務残高のGDP比は240%超で他の主要7カ国(G7)で最悪のレベルです。これだけの債務返済には、消費税率を40ペーセント以上に上げなくてはなりませんが、国民負担率が50%を超える現状で国民の同意を得ることは難しく、現実的に不可能と思います。しかし、財政状態の悪化により円の価値がますます下がりますし、ただでさえ金利が上昇している折、国債の償還・利払いで益々債務が増大するでしょうから、これ以上放置もできませんので、政府としては意図的にインフレ(物価高騰)になるよう誘導又は放置して、インフレ税として債務を減らすようにしているのではと考えます(債務がこれだけあらざるのにさらに財政支出・減税をしてインフレを加速させようとしているので)。横文字好きな政府や

メディアが敢えて、インフレとは言わず、言葉の言い換えで物価高騰とすり替えているのも、国民がインフレ税に気がつかないよう御法度としているようでインフレ誘導の裏付けともなります。政府の債務が減少するのは良いのですが、国民の資産の減少が政府の債務の減少に移転するだけですから、国民にとつては生活が益々苦しくなり、とてつもない痛みが伴います。かつてのドイツやアルゼンチンやブラジルのように、ハイパーインフレに陥らないことを祈ります。

政治についてです。台湾を巡る高市総理の発言により、中国との外交関係が悪化しているようです。武力による現状変更は国際社会としても容認できないことがありますし、ただでさえ金利が上昇している折、国債の償還・利払いで益々債務が増大するでしょうから、これ以上放置もできませんので、政府としては意図的にインフレ(物価高騰)になるよう誘導又は放置して、インフレ税として債務を減らすようにしているのではと考えます(債務がこれだけあらざるのにさらに財政支出・減税をしてインフレを加速させようとしているので)。横文字好きな政府や

メディアが煽り、憲法改正議論も再燃し、国防費の増額など国民も負担を強いられると思います。戦前のように言論の自由など様々な自由や権利も制限される可能性も高いと思います。戦争で得をするのは軍需産業・武器商人だけで、國民は命・健康・財産など一方的に略奪されますので、軍拡・戦争に繋がる憲法改正は厳に慎むべきと考えます。

日本を遙かに超えて人口が急減し少子高齢化する中国への過度な心配は不要ですし、とともに人口が減る日中両国が通常戦争に備えるのは愚かだと思います。

日本を遥かに超えて人口が急減し少子高齢化する中国への過度な心配は不要ですし、とともに人口が減る日中両国が通常戦争に備えるのは愚かだと思います。

一方、オールドメディアは信頼装置から誘導装置になりつつあるのではないかでどうか。報道を装いながら、「何を伝え、何を伝えないか」で国民の認識をコントロールしているのではないでしょうか。どのテーマのニュースでも全てのオールドメディアが殆ど同じ意見であることに非常に違和感を感じます。様々な意見を提示して、受け手に考えさせ、個人個人の考え方を形作ることが大切ではないでしょうか。

プロパガンダ(世論誘導)を含めた一方向性の報道や「国民にとって大切な情報」に対する報道しない権利の行使が問題だと思います。

国民の知る権利に応えるために、一切の予断、偏見や特定の信条、利益に依らずに報道することが本来のジャーナリズムであり、それが正當に機能するには、ジャーナリストが、株主などの資本、広告主などの利害関係者、政府や業界団体などの権力、さらには一人ひとりが情報の発信者・ジャーナリストになれることが、即ち市民ジャーナリストです。そして一方的に受け取るだけではなく双方でコミュニケーションできることも強みです。更には玉石混交ではあります。決して報道できない真実なども発信されます。その反面、偽りの發信も多いので、情報の受け手がそれを騙されないで判別する力がこれまで以上に重要になります。

創立記念日行事

法人本部
事務課長 岡澤和則

第一部 永年勤続表彰

令和7年10月9日（木）本会の小原ケイ記念聖堂において、創立記念日行事が執り行われました。

第一部は、職員の多年にわたる功績を称えて永年勤続表彰式が行われました。本年度の受賞者は、

勤続30年が5名、勤続20年が9名、勤続10年が17名の合計31名です。

表彰式では本会の石毛理事長が祝辞を述べられ 受賞者に表彰状と記念品が授与されました。その後、受賞者を代表して、聖マリア園の飯島広司施設長が謝辞を述べられました。

受賞者の皆様、永年勤続の表彰おめでとうございます。長きにわたり本会の事業運営にご尽力いただき、誠にありがとうございます。健康には十分ご留意され、引き続きお力添えをいただけますと幸いです。どうぞよろしくお願ひいたします。

小池 飯林 神

出田 島 崎

広 静

薰 和 司 子 満

【勤続30年】

林 平 伊 渡 櫻 及 船 石 林

野 藤 邊 井 川 木 田

康 秀 文 菜 和 昌 拓 真 弘

大 樹 洋 摘 美 宏 哉 美 志

【勤続20年】

鈴 岩 伊 伊 中 江 小 成 菅

木 井 藤 藤 村 崎 林 澤 生

拓 卓 美 美 大 珠 有 雅 智

巳 也 子 桜 吉 實 紀 高 子

【勤続10年】

吉 石 秋 實 野 永 荒 飯

川 橋 葉 川 口 塚 井 島

奈 弥 陽 紀 早 貴 真

津 子 生 介 子 苗 彩 德 帆



第二部 記念講演

第二部は、カトリック習志野教会の主任司祭である浦野雄二神父を講師としてお招きし、記念講演が行われました。「信仰の歩みを振り返ってー神からいただいた気づきー」を演題として、浦野神父の幼少期から現在に至るまでの出来事、その出来事を通じて得られた気づきについて、ご講演をいただきました。



浦野雄二神父のご紹介

1960年生まれ
東京都墨田区ご出身
司祭叙階 1996年

特に神学校入学後に1年間を過ごした栃木県の那須にある「ガラリヤの家」での出来事に関するお話を印象深く、「私たちは誰かとの比較の中で生きているわけではない」などのメッセージが心に残りました。様々な情報が飛び交い、自身の価値や存在を見失いそ

うになることが多い現代社会において、私たちが生きていく上でとても大切な意味が込められていると感じました。

この記念講演を通じて、浦野神父からいただいた気づきを私たちも活かしていかなければと思います。お忙しい中、貴重なご講演をいただきましたことに職員一同心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



ボランティア表彰

海匝ネットワーク 所長 英一馬

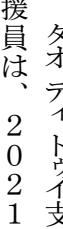


松下やえ子様は
2011年の東日本大震災直後から
被災者の心のケア



功労者表彰

執行役員 荒井 隆一



功労者表彰

ダオティトウイ支
援員は、2021
年に本会初の特定
技能の職員として
入職後、持ち前の
明るさと勤勉さを生かして働いて
います。本会の外国人材雇用にお
いては、ご自身の持つネットワー
クを活用し、多大な貢献をしてく
ださいました。また、将来的に日
本で働き続けたいという思いを強
く持たれて勉強し、日本語習得の
他、2025年1月実施の第37回

12月4日（木）東総文化会館で開催した本会の障害者週間行事において、ボランティア・功労者表彰式を行い、松下やえ子様にボランティア感謝状、ダオティトウイ支援員に功労者表彰状を授与いたしました。

このたび、松下様の地域福祉や本会への多大な功績に深く敬意を表し、感謝状を授与させていただきました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度障害者週間行事

介護福祉士国家試験に合格をするなど、ひたむきに努力をされています。このような功績を称え、障害者週間行事において、石毛理事長より功労者表彰状が授与されました。今後も様々な場面で活躍をしてくださると思います。このたびは本当におめでとうございました。引き続きよろしくお願ひいたします。



基調講演

海匝ネットワーク 所長 英一馬

基調講演では、一般社団法人ひきこもりUX会議代表理事の林恭子様をお招きし、ご自身の不登校・ひきこもりの長く苦しい体験と、当事者の声を軸に、支援の方を問い合わせをお話しをいただきました。



まず印象に残ったのは、不登校・ひきこもりは「怠け」や「病気」ではなく、生きるため・命を守るために行動であるという視点でした。追い詰められ、これ以上頑張れない中で立ち止まることは、当事者にとって必死の選択であり、外から無理に動かすことがかえつて回復を妨げるというご指摘は身につまされるものがありました。

次に印象に残ったのは、支援の出発点は就労や自立ではなく、「生」のままではなく、「生きていってくればいい」と受け止めることで、本人が回復する力を取り戻していくということです。日々の実践と経験談には強い説得力がありました。支援とは何かをすることではなく、何もしなくて大丈夫だと思える空気をつくること。その姿勢こそが、当事者と家族の苦しさを和らげ、変化の土

きていていい」「ここにいていい」と実感できる安心な居場所を作った。当事者の多くが自己否定感と孤独を抱えており、理解され、共感される経験がエネルギーを回復させることにつながるとお話しいただき、居場所づくりと家族支援の重要性について語りました。

シンポジウムでは、

ご講演いただいた林さんに加え、NPO法人みんなの居場所ありのまま理事長内田美穂さんと、いんば中核地域生活支援センター所長川野優さんにご登壇いたしました。皆さんの実践やお考えについてお話を伺いました。

お二人から伺った「そのままでもいい」「生きていてくれればいい」と受け止めることで、本人が回復傾け続け、生きづらさを抱えて生きる方々とどう支えあうかを考え活動していきたいと思います。

引き続き我々は、当事者の「本音」に耳を傾け続け、生きづらさを抱えて生きる方々とどう支えあうかを考え活動していきたいと思います。

障害者週間行事を盛況のうちに終えることができましたことを、ご登壇いただいた皆さんをはじめご来場いただいた皆様、地域住民の方々、関係機関の方々に感謝いたします。ありがとうございました。

台になるのだと感じました。

障害者週間行事の冒頭で石毛理事長が次のように挨拶をいたしました。「現代の我々が生きている競争社会は、大声で意見を言える人、鈍感力の強い人、他人を平気で押しのけられる人が有利になるよう設計されており、社会の仕組みが一方に偏っているように感じる」と。

皆さんも、この講演会を通して、ひきこもりは、誰でもなり得るものであり、これは当事者個人の問題ではなく、社会の問題であると強く感じたのではないかでしょう。



はーとふるAsahiマーチに参加して
ワークセンター 管理者 林弘志

12月9日の昼さがり、旭市役所ロビーにて「はーとふるAsahi マルシェ」が開催されました。

障害への理解促進を目的に、障害者就労施設で作られたパンやお弁当、雑貨などが販売されました。

今回で3回目の開催となり、ロザリオからはワークセンター、みんなの家、聖家族作業所の3事業所が参加しました。

尾 柏
形 村
豪 拓 聰

千葉県社会福祉事業
共助会長期在籍会員顕彰

林 高根 伊 渡 櫻 安 及 菅 小 喜 船 大 椎 石 日 林
山 岸 藤 邊 井 西 川 谷 森 田 木 木 名 田 高
康 ま 成 文 菜 和 八 昌 一 正 沙 拓 広 柳 真 玲 弘
す 惠 由
大 み 明 洋 摘 美 子 宏 恵 道 苗 哉 恵 子 美 子 志

平 白
野 井
逸 正
子 和

千葉県社会福祉協議会会長表彰

全国社会福祉協議会会長表彰

第30回ロザリオ福祉まつりお礼 寄附・協力団体/参加団体/ボランティア一覧

【参加団体】

1	Shellies
2	YAMADA 星太鼓
3	多古リーブス
4	外房チアリーディングクラブ COASTERS'99
5	光ウィンドオーケストラ
6	野中地区お囃子会
7	LANIKAI
8	TORIKO Burger
9	モアナ
10	asian dining FESTA
11	Groovy coffee stand
12	幸せ運ぶドーナツ屋さん somali
13	インドレストラン TAJ
14	AND RIVER
15	又兵衛
16	どんぐり山のクマさんとなっちゃん
17	OHANA
18	社会福祉法人さざんか会 笹川なづな工房
19	NPO 法人はんどいんはんど東総 ひまわり工房
20	社会福祉法人創成会 ワイズホーム

【寄附・協力団体】

1	千葉興業銀行 旭支店
2	八日市場瓦斯株式会社
3	有限会社ユーシン電設
4	抹茶カフェロデ庵
5	社会福祉法人 大泉旭出学園 大利根旭出福祉園

【ボランティア】

1	淑徳大学
2	植草学園大学
3	城西国際大学
4	香取おみがわ医療センター附属看護専門学校
5	旭中央病院附属看護専門学校
6	銚子市立銚子高等学校
7	千葉県立銚子商業高等学校
8	千葉県立匝瑳高等学校
9	千葉県立佐原高等学校
10	千葉科学大学附属高等学校
11	旭市立干潟中学校
12	旭市立海上中学校

ご協力ありがとうございました





**イオンタウン旭
サンタさんのプレゼント**
旭市こども発達センター副主任 岩澤有里

12月16日（火）に行われたクリスマス会にて、イオンタウン旭店様より2名のサンタさんが来園されました。子供たちからは「大きなサンタさんだね！」と驚きの声と、喜ぶ姿が見られとても盛り上がりいました。

イオンタウン旭店様から子供たちに、かわいくキャンディーの形にラッピングされたタオルを頂きました。貴重な経験を、ありがとうございました。



**聖心女子学院様より
クリスマスプレゼント**
ロザリオ発達支援センター 香取雅子

聖心女子学院様より、今年も子供たちへの心のこもったクリスマスプレゼントを頂きました。子供たちが大好きなお菓子の詰め合わせに手作りのクリスマスカードが添えられていました。

プレゼントをもらった子供たちの表情がとても印象的でした。おかげさまで素敵なクリスマスを過ごすことができました。温かいお気持ちを職員一同、心より感謝申し上げます。



大食堂エアコンのご寄附

聖家族園大食堂に家族会よりご協力をいただき、エアコンが設置されました。今までの床置き型エアコンに比べ、壁上部に付いたことで食堂も広くなり、見た目もスッキリし、寒い時期も温かく快適に過ごせます。家族会の皆様、ありがとうございました。

大野 幸子 様	飯田 武也 様	高橋 順子 様	黒崎 知子 様	中井 邦明 様	秋山 世以子 様	吉田 佳代子 様	武多和 君子 様	カトリック松戸教会 様
吉田 和子 様	久米倫男 様	中嶋 和子 様	高橋 延広 様	小関 友紀子 様	鈴木 春雄 様	レデンプトリスチン修道院 様	飯島 英明 様	まつざわコーヒー 様
カトリック西千葉教会 様								
聖心女子学院五月会 様	聖心女子学院 様	聖心女子学院 様	聖心女子学院 様	聖心女子学院 様	聖心女子学院 様	聖心女子学院 様	聖心女子学院 様	聖心女子学院 様
旭地区遊技場組合 組合長 小川憲二 様	高もゆる会 様	中高もゆる会 様	木村屋建築設計事務所 様	陶芸教室 泉の会 代表 若林加代子 様	関本光彦 様	関瀬政衛 様	関本光彦 様	関瀬政衛 様
米本恵子 様	米本弥榮子 様	米本恵子 様	米本弥榮子 様	米本恵子 様	米本恵子 様	米本恵子 様	米本恵子 様	米本恵子 様
陶芸教室 泉の会 代表 若林加代子 様								

寄附者御芳名

令和7年
10月1日
～
12月31日

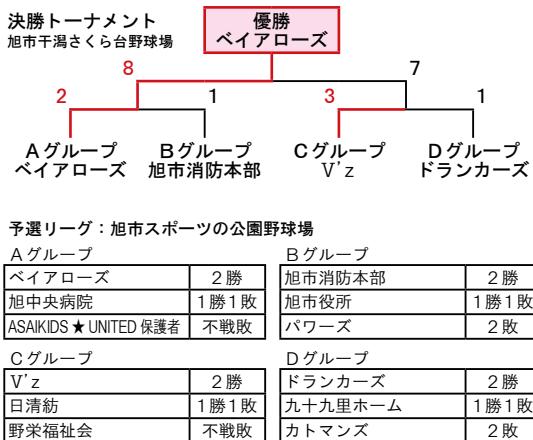
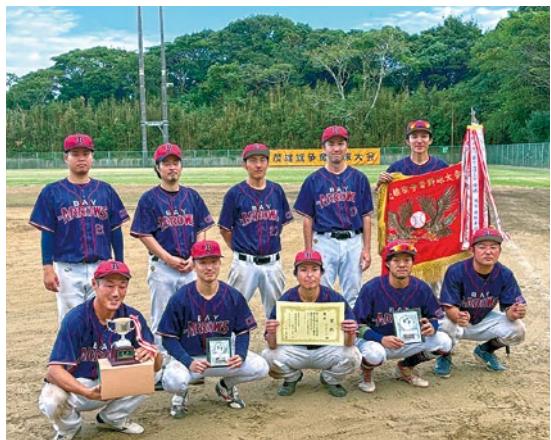
第27回長嶋茂雄旗争奪野球大会

長嶋茂雄旗争奪野球大会事務局

本会主催の長嶋茂雄旗争奪野球大会が、令和7年10月5日（日）閉幕いたしました。第27回を迎えた本大会は、全12チーム（4グループ）による予選リーグ（夏季開催）を勝ち抜いた4チームが決勝トーナメント（秋季開催）を争う新たな方式を採用しました。

前回大会の優勝、準優勝チームの予選リーグでの対戦、安定した実力を誇る古豪V'zの躍進、そして、ここ一番での一投一打で他を勝ったペイアローズの初優勝などいへん見ごたえのある大会となりましたことをご報告いたします。大会開催にあたりご尽力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

本大会は、故長嶋茂雄氏より「社会福祉振興のために」と優勝旗を寄贈していただいたことから始まり、30年以上の歴史を誇る大会（新規コロナの影響により4年間の中止）となりました。今後も本大会を通じて社会福祉事業の推進に努めてまいります。



第2回ボッチャ大会優勝

聖マリア園 荒井貴雪

千葉県身体障害者施設協議会主催の第2回ボッチャ大会に参加してきました。

ボッチャとはジャックボールと呼ばれる白いボールに赤と青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツです。ルールは県身協独自のルールとなつており、誰でも障害の差異なく楽しく行えるものでした。練習時間を十分に取れず、不安のある中での参加でしたが、結果として同点からのタイブレイクで勝利するなど白熱した試合を繰り返し、見事優勝を果たすことができました。

12月27日（土）、社会福祉協議会様よりご寄附をいただいたもちつ米を使用して、毎年恒例のもちつき会を開催しました。

当日は底冷えする寒さでしたが、杵と臼で力いっぱいいたお餅の味は格別だったことと思います。雑煮・あんこ・きなこ・からみ・みたらしと、多様な味わいで、皆さんに笑顔溢れるひと時を過ごしていました。また、黒潮会の皆様をはじめ、外部の関係機関、学生ボランティアの方々にお力添えいただき、盛況のうちに終えることができました。たくさんのご協力、ありがとうございました。



もちつき会

ナザレの家あさひ 伊藤栞里



10月31日、法人職員の交流と懇親を兼ねてロザリオ体育館にて「第26回創立記念職員バーレーボール大会」が開催されました。当日は大雨かつ強風でしたが、白熱した試合展開となりました。

試合は全6チーム参加の予定でしたが、聖マリア園グループがコロナ感染のため残念ながら棄権となり、5チームで優勝を争うこととなりました。全4試合、どの試合も素晴らしい試合でしたが、熱戦を制したのは法人本部グループでした。なんと昨年に引き続きの優勝でした。おめでとうございます。

準優勝も昨年に引き続き聖家族園グレープでした。決勝戦はフルセットの大接戦の末、惜しくも敗れてしましましたが、どちらが勝つてもおかしくない試合内容でした。まるでテレビのバレーボールの試合を観戦しているかのようなハラハラドキドキした本当に素晴らしい試合でした。

惜しくも敗れてしまった他のグループもチームワークが良く元気よくプレーされていました。ラリーが良く続いており、アタックもよく決まっていました。

ボール大会ですが、今年からは夏の暑さを考慮して10月開催となりました。丁度ハロウインということもあります。仮装して参加される方々も多く見受けられました。少し寒くなる時期の開催ではありましたが、皆さんのお暖かい応援を受けたいへんのびのびとプレーできました。応援に来ていただいた皆様もお疲れ様でした。たくさんの方ありがとうございました。

職員バレー ボール大会

海上療養所 成澤雅高



法人本部



聖ヨセフつどいの家



海上寮療養所



石田奈美
1月より入社いたしました。
まだ至らぬ点も多いと存じます。
ですが一日も早く業務に慣れ、皆様のお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

遠藤敬子 11月より暁の星病棟に入職しました。精神科は経験がないため不安もありますが、早く慣れ るよう努力していきたいと思います。よろしくお願いします。

新任者紹介

優勝

法人本部
グループ

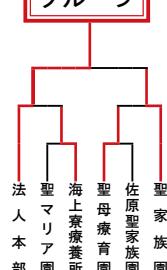


Photo Gallery

★聖マリア園★



美味しい食事に笑顔でピース♪

水族館に行つてきました ♪ ☺

★マリアデイサービス★



みんなで メリークリスマス♪



年



末

★聖母通園センター★



クリスマス会に向けて準備♪

事

行

★聖母療育園★



イルミネーション奇麗だね～



ツリーと一緒に写真を撮ったよ♪



★佐原聖家族園★



カラオケ大会



バンドとセッション

★聖ヨセフつどいの家★



☆アリークリスマス☆



クロカンツツユ完成したよ～♪



大

★ナザレの家かとり★



一年間お疲れさま



集

特



★ロザリオ発達支援センター★



かわいい雪だるまさかといっしょ♪

★みんなの家★

カメラさん
イケメンでよろしく～♪

★聖家族園★



クリスマス会楽しむ♪



★ワークセンター★



忘年会でデュエット♪

Instagram 開設しました！



法人のこと、海匝ネットワーク・
旭市中央地域包括支援センター・
Mado-ka の取り組みを中心に発信中。
QR コード読み取りか
「@madoka_kaiso_hokatsu」で
検索してください。
いいねやフォローお待ちしております！

本誌のバックナンバーを
ロザリオウェブサイト
(<https://www.rosario.jp>)
に掲載しています。

問い合わせ
TEL 0479(60)0600
(担当 ボランティア係)

精神科・障害児者医療に携わる
看護師、入所・通所施設の利用者
の支援員、各施設・事業所の事務
員を募集しています。

ロザリオの聖母会では、施設や利用者のために常時ボランティアのご協力をお願ひしています。お願いのできる方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願ひします。

ボランティア募集のお知らせ



このロゴマークは、師イエズス修道女会 北爪悦子修道女 により作成されました。